

地球温暖化対策実施状況報告書

2019 年 7 月 23 日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都品川区大崎 1 - 1 1 - 3

氏名 前田道路株式会社
代表取締役 武川 秀也

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	前田道路株式会社 代表取締役 武川 秀也				
事業者の主たる 事業所の所在地	神奈川県横浜市瀬谷区北町20-13				
主たる事業の業種	大分類	D 建設業			
	中分類	06 総合工事業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	3,714	kl	自動車の台数	台

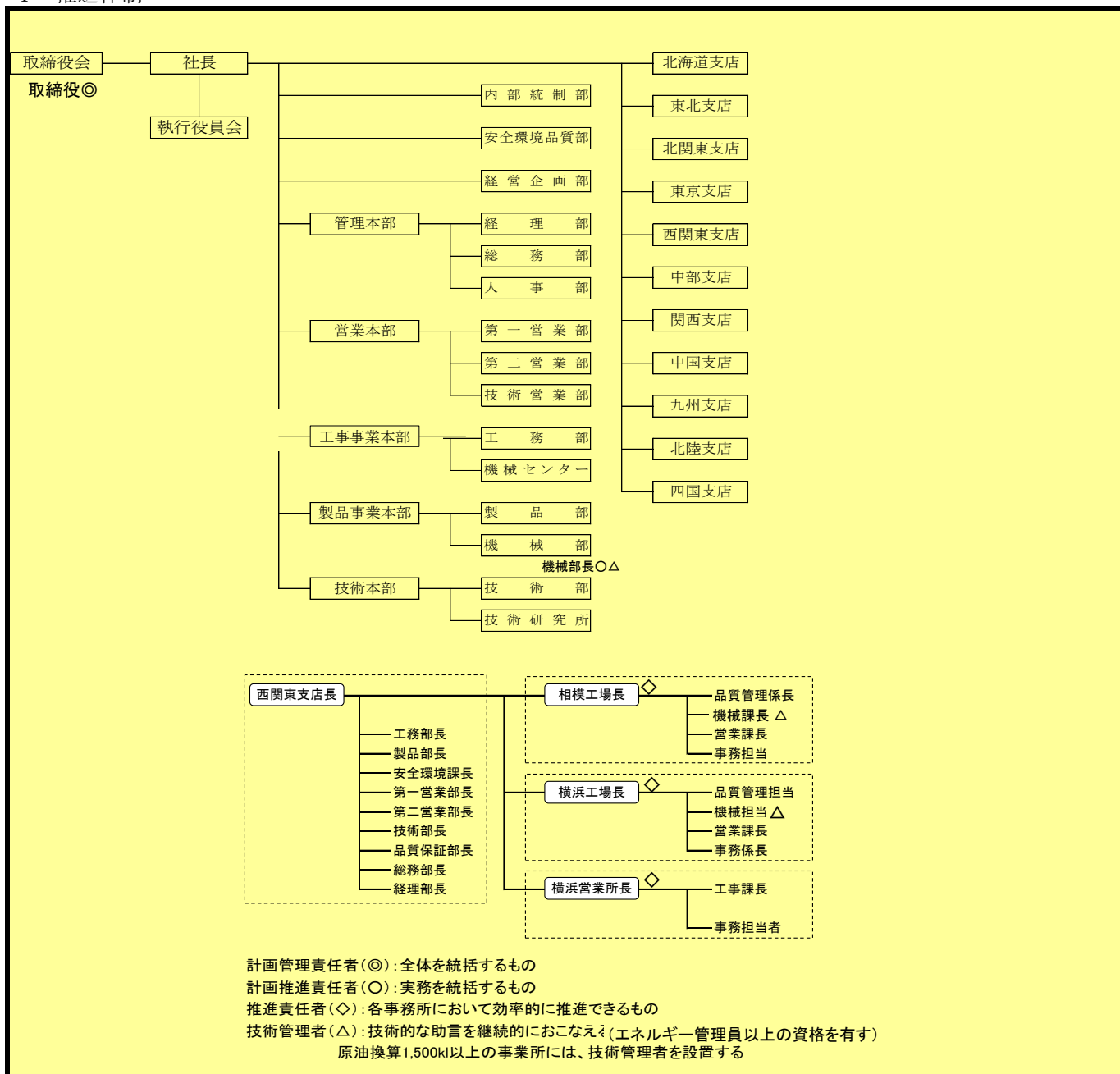
2 計画期間及び実施年度

計 画 期 間	2016	年度 ~	2018	年度	実 施 年 度	2018	年度
---------	------	------	------	----	---------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <p>エネルギー資源の節約を推進 オフィス活動における資源の節約 照明設備の省エネ対策の検討</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討]</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 相模工場内加熱工場乾燥設備</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 設置後15年が経過し、更新時期に該当しつつあるため、更新を検討する</p> <p>③設備更新スケジュール 平成30年度完了予定</p>
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	前田道路株式会社 西関東支店
	所在地	横浜市中区不老町3-12-5
	閲覧可能時間	9:00~16:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	9,307	t-CO ₂				基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後	9,261	t-CO ₂				目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 (2018年度)	目標排出量	9,214	t-CO ₂	削減率	1.0 %	目標原単位	削減率	0.8 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>目標排出量は、基準年度同様の製造数量として設定している。 排出抑制に関しては、原料を加熱乾燥するため、材料の含水比対策に重点を置き活動する。 更に、電源と空調の管理を行い排出の抑制を行う。</p>								
事業者全体としての目標等	<p>会社全体で削減目標をたて排出抑制に努めている。</p>								
第一年度 (2016年度)	排出量	9,134	t-CO ₂	削減率	1.9 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	9,069	t-CO ₂	削減率	2.1 %		削減率	2.2 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>排出量に関して、生産数量は基準年度と比較して0.9%の減となり、1.9%の削減となった。材料の含水比低減による燃費対策によってCO2排出原単位が約1.3%の削減となった。</p>								
第二年度 (2017年度)	排出量	8,785	t-CO ₂	削減率	5.6 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	8,636	t-CO ₂	削減率	6.7 %		削減率	1.4 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>排出量に関して、生産数量は基準年度と比較して6.1%の減となり、5.6%の削減となった。材料の含水比低減による燃費対策及び設備を一部更新したことによってCO2排出原単位が約1.5%の削減となった。</p>								
第三年度 (2018年度)	排出量	7,547	t-CO ₂	削減率	18.9 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	7,383	t-CO ₂	削減率	20.3 %		削減率	1.6 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>排出量に関して、生産数量は基準年度と比較して17%の減となり、18.9%の削減となった。材料の含水比低減による燃費対策及び設備を一部更新したことによってCO2排出原単位が約1.6%の削減となった。</p>								
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>排出量が減っているが、年々生産数量が減少して来ている影響が大きい</p>								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂				t-CO ₂ /	
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	2	9,137	2	8,958	2	8,613	2	7,454
500k1以上 1,500k1未満								
500k1未満	2	170	2	176	2	172	2	93
合計	4	9,307	4	9,134	4	8,785	4	7,547

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度									
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	4/4	—	年度			実施済	4/4	—	年度			実施済	4/4	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	4/4	—	年度	パナソー入れ替え検討		実施済	4/4	—	年度			実施済	4/4	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	4/4	—	年度			実施済	4/4	—	年度			実施済	4/4	—	年度		
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	4/4	—	年度			実施済	4/4	—	年度			実施済	4/4	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度	日々管理表実施中		実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	ポンプ使用なし		非該当	/	—	年度	ポンプ使用なし		非該当	/	—	年度	ポンプ使用なし	
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	4/4	—	年度			実施済	4/4	—	年度			実施済	4/4	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	地下駐車場なし		非該当	/	—	年度	地下駐車場なし		非該当	/	—	年度	地下駐車場なし	
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	1/2	—	2016年度	相模工場一部LED化		実施中	1/2	—	2018年度	順次更新中だが、計画予定年度に完了せず、現在も更新中相模工場一部LED化		実施中	1/2	—	2019年度	順次更新中だが、計画予定年度に完了せず、現在も更新中相模工場一部LED化	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	4/4	—	年度			実施済	4/4	—	年度			実施済	4/4	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	機器なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	機器なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	機器なし	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	冷凍機使用無		非該当	(設備の種類) /	—	年度	冷凍機使用無		非該当	(設備の種類) /	—	年度	冷凍機使用無	
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 乾燥炉 6/6	—	年度			実施済	(設備の種類) 乾燥炉 6/6	—	年度			実施済	(設備の種類) 乾燥炉 6/6	—	年度		
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	蒸気ボイラ無		非該当	(設備の種類) /	—	年度	蒸気ボイラ無		非該当	(設備の種類) /	—	年度	蒸気ボイラ無	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	蒸気ボイラ無		非該当	(設備の種類) /	—	年度	蒸気ボイラ無		非該当	(設備の種類) /	—	年度	蒸気ボイラ無	
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	ロータリーキルン方式のため該当無		非該当	(設備の種類) /	—	年度	ロータリーキルン方式のため該当無		非該当	(設備の種類) /	—	年度	ロータリーキルン方式のため該当無	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施済	実施済	(設備の種類) エアコンプレッサー 6/6	—	年度			実施済	(設備の種類) エアコンプレッサー 6/6	—	年度			実施済	(設備の種類) エアコンプレッサー 6/6	—	年度		
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) エアコンプレッサー 6/6	—	年度			実施済	(設備の種類) エアコンプレッサー 6/6	—	年度			実施済	(設備の種類) エアコンプレッサー 6/6	—	年度		

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度									
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度	
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度	
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		0.20 %		7,547		1,018.4		1,003.0		15					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 (t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	LED照明に交換	相模工場	2018	水銀灯	上記以外の買電	1,989	千kWh	1018.4	LED照明17台	上記以外の買電	1,959	千kWh	1,003.0	15.4	1,980 千円
															千円
															千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED照明	2016年度	消費電力150W 光束17,000ルーメン以上（1kw水銀灯4台をLED照明へ交換）	3400KW/h削減
2	LED照明	2018年度	消費電力255W 光束17,000ルーメン以上（1kw水銀灯2台をLED照明へ交換）	1500KW/h削減
3	LED照明	2018年度	消費電力151W 光束17,000ルーメン以上（1kw水銀灯8台を700wLED照明へ交換）	4400KW/h削減
4	LED照明	2018年度	消費電力65W 光束17,000ルーメン以上（400w水銀灯7台をLED照明へ交換）	2345KW/h削減
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	164	東京電力エナジーパートナー
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	特になし
計画期間内に実施する対策	廃棄物の排出量の削減に係る対策
第一年度実績	廃棄物の排出量の削減の対策として、エコキャップ推進活動を実施 昨年度実績キャップ 9903個・ワクチン 11人分・CO2を 72kg削減
第二年度実績	廃棄物の排出量の削減の対策として、エコキャップ推進活動を実施 昨年度実績キャップ 15080個・ワクチン 16人分・CO2を 110kg削減
第三年度実績	廃棄物の排出量の削減の対策として、エコキャップ推進活動を実施 昨年度実績キャップ 4408個・ワクチン 4人分・CO2を 32kg削減

14 実施状況等に対する自己評価

水銀灯からLED照明に17台交換出来た。